

The Style-Nov.2011

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

- 1.style 由良川里山交流フェスタ
- 2.style 広島県竹原市
たんたん information
- 3.style サブカルの可能性
たんたんの紹介
- 4.style Others information
たんたん講座シリーズ

由良川里山交流フェスタ

10月29日～11月6日まで開催される「第26回国民文化祭・京都2011」。そのキックオフイベントとして9月24日三段池公園にて由良川里山交流フェスタが行なわれました。



体育館内ステージでは国民文化祭・京都のメッセージソングである和紗さんのステージや、ゆるキャラのステージのほか、ダンスや和太鼓などの催しが行なわれました。

ゆるキャラのステージには国民文化祭マスコットであるまゆまるをはじめ、福知山ではすっかりおなじみになったゴーヤ先生など北近畿からゆるキャラが集まりました。



一方、外のブースでは中丹地域にある里山のお米・野菜・おかずなどの販売、地域のお米の食べ比べが出来るブースや子どもたちが遊べるブース、体験型のブースなどがありました。



昼頃になると外のブースは多くの人で賑わっていました。特に里山ブースは多くの人で溢れかえっており、米の食べ比べは1時ごろには全てなくなるといった盛況ぶりでした。

里山文化の良さをこのイベントを通じて伝えることが出来たのではないのでしょうか。

◆たんたん information

●福知山市「アート&クラフト@ふくちやま Vol.3」

→ (11月13日)

10時～4時

場所：三段池公園

6月に行なわれたアート&クラフト@ふくちやまの第三段。アート、クラフトだけでなく、パフォーマンスショーや音楽演奏、アート体験といった催しもあります。

●綾部市「安国寺もみじ祭り」

→ (11月13日)

9時30分～4時

場所：安国寺

境内の樹齢80年を越す約100本のもみじと、背後の山腹の数百本の楓の見事な紅葉が見られるほか、茶席では、野点や琴、尺八の演奏が行われます。また、地元産野菜や特産品、加工品等の模擬店も出店します。

●綾部市「改心の道」遊歩

→ (11月23日)

場所：弥山山

弥山山(標高664m)は、丹波富士と称され、美しい紅葉や野鳥など豊かな自然と山頂からの雄大なパノラマを満喫していただけます。農産物や加工品の販売等地域住民との触れ合いも楽しんでいただけます。

●福知山市「第21回 福知山マラソン」

→ (11月23日)

10時30分スタート

場所：三段池公園

日本陸連公認のマラソンコースを約10,000人のランナーが走ります。全日本盲人マラソン選手権も同時に開催されます

たんたんP J

サブカルチャーが地域の核になる時代へ(広島県竹原市)

「聖地巡礼」

この言葉を耳にしたことはあるでしょうか。本来は宗教の聖地に巡り祈るという宗教的な行為として使われますが、転じて小説、近年ではマンガやアニメの舞台となった場所等をファンが「聖地」と呼び、思いを馳せ実際に出向くことを「聖地巡礼」と呼ぶようになりました。

聖地巡礼で最も有名なのは「らき☆すた」の聖地である埼玉県鷲宮です。

鷲宮では「らき☆すた」による経済効果が1億円を超えたという話もあり、改めてマンガ・アニメが与える影響力というものを考えさせられます。

近年マンガ・アニメ、キャラクターでの地域振興は多く見られるようになり、ゆるキャラもキャラクターを使った地域振興の一つと言えます。ゆるキャラは地元密着のイメージが強いですが、マンガ・アニメは外から人を呼ぶことのできる日本の文化です。

京都府北部では、KTRの由良の鉄橋が風景として出てきた作品もあり、その風景を写真に収めるファンもいます。

NPOが窓口となってアニメとコラボしている竹原市

今回取材に行った広島県竹原市もアニメ「たまゆら」の舞台として町並み保存地区の風景が使われ、アニメを見た人が実際にその地へ訪れるようになっていきます。

この「たまゆら」という作品、エンディングでNPO法人ネットワーク竹原という文字が確認できます。

アニメとNPO、どのような関係があるのか……。今回NPO法人ネットワーク竹原の理事長佐渡泰さんにたまゆらとの関係性やアニメでの地域振興などについての話を伺いました。



ネットワーク竹原は竹原市の町並み保存地区の指定管理を受けるなど、歴史・文化などを推進し、地域振興に繋げておられるNPO団体です。

そんなネットワーク竹原がたまゆらと関わりを持ったきっかけ。このアニメは松竹株式会社がつけている作品なのですが、OVA発売の時に竹原市でイベントを行いたいと「市」に話を持ちかけたそうですが、市の反応は鈍く、このままだとイベントが出来ない状況だったそうです。

その話を耳にした佐渡さんが松竹に話を持ちかけ、イベントの調整、資金負担などを引き受け「たまゆらの日」というイベントが無事開催されました。それ以来松竹との話はネットワーク竹原が対応しておられるそうです。

そして、OVAが発売されると多くのアニメファンが竹原市へ訪れるようになりました。

絵コンテへの意見、背景のモデルとなる店との交渉、イベントでの奔走などで得た信頼から、松竹からオリジナルグッズ製作・販売の許可をもらい、竹原市限定でのたまゆらグッズを販売されています。イベントで負担したお金はグッズの収入で全て回収することが出来たそうです。



ただ、佐渡さん曰く通販をする気はなく、あくまで竹原市限定で販売することに意味があるといいます。グッズが目的だとしても、少しでも多くの人々が竹原市へ足を運ぶように、そして足を運んだ人が竹原市を好きになってくれるようにおもてなしをすることが大事だとおっしゃいます。

◆ サブカルチャーの可能性

“マンガ”、“アニメ”はその場所へ行く「きっかけ」であり、大切なのは地元の人とのコミュニケーションであることは間違いありません。

町並み保存地区はとても素晴らしく、アニメ映える風景であると感じました。

しかし、それ以上に竹原市の人々が持つ「おもてなしの心」は素晴らしく、私たちの質問や話に快く答えてくださったり、逆に向こうの人から私たちに話しかけてくれることもあり、地元の人々の気さくさ、温かさが印象に残りました。「人の良さ」は「町の良さ」に繋がり、人と触れ合うことによってその町のファンになっていくのでしょうか。

“マンガ”、“アニメ”に限らず、サブカルチャーによるまちおこしは次世代の地域振興として注目されています。その上でさらに、地方からサブカルチャーを発信できる仕組みを作っていくことが出来ればサブカルチャーの可能性がさらに広がるものではないでしょうか。

京都府北部にも素敵な場所はたくさんあります。京都府北部でもこのようなお客さんに来てもらう「きっかけ」をつくりだし、おもてなしをすることで町のファンを増やすことが可能なのではないのでしょうか。

◆ 京都丹波・丹後ネットワーク

当NPOは中間支援団体として、団体や個人、資源などの地域財産を有機的に結び付け地域の活性化を図っているほか、里山活性化・地域活性化を目的とした産物の調査やイベントの開催など、京都北部の魅力を発信しています。

昨年の開設以来、中丹地域のお米の食べ比べ、歴史を使った地域活性化の交流会などを実施する中、ようやく地域間のネットワークが進み、地域のみなさんと持続的に協働事業が行える体制の兆しが見え始めました。

今後もまた里山交流会を開催する予定ですのでご支援、ご協力をお願いします。

現在、当NPOでは地域財産である人材・団体を募集しています。得意なもの（特技）を持っている方（料理が得意、腹話術が出来るなど）、知識・文化・歴史などに詳しい方、地域活性化・里山の活性化に興味がある方や何か力になりたいとお思いの方などジャンル、形は問いません。当NPOと一緒にあって北部地域を盛り上げてみませんか。

Others Information

◆ 賛助会員・寄付を募集しております。

賛助会員：(個人) 1口：1000円～
(団体) 1口：10000円～
寄付：1000円～

賛助会員と寄付の申し込み方法はホームページをご覧ください
→<http://www.kyoto-tantan.net/>

またお電話でも受け付けています。→TEL0773-45-3507 (平日9時～17時)
みなさまのご支援、ご協力よろしくお願ひします。

たんたん講座シリーズ

地域のづくりや魅力の発信に役立てられる講座シリーズを開催。

当NPO法人ではジャンル別に講座を毎月開催しております。

(今後開催する予定の講座は情報発信講座、マネジメント講座、デジタルカメラ講座)

京都北部では地域にたくさん魅力があるにも関わらずうまく活用できていません。その魅力に気づかないまま、外の地域ばかり目を向けている現状があり、多様な資源、人材があってもなかなか地域に反映されません。そこで当NPO法人は北部地域の活性化をするためにまずそこに住む人たちの手で知識、知恵で活力を生み出していきたいと考え、講座を開催することに至りました。

▼メイン講座

- | | |
|------------------|---|
| 11月21日 (10時～16時) | 情報発信講座 facebook入門 簡単なホームページ作成
NTT綾部局舎 |
| 11月26日 (13時～17時) | NPOにとって必要な資源の調達方法 (講師 村井 琢哉氏：京都創造基金)
中所企業のCSRとNPOについて (講師 松岡 秀紀氏：京都CSR推進協
議会)
京都府福知山総合庁舎 |

▼フォトピア写真講座<募集定員・・・各6名>

- | | |
|------------------|--|
| 11月21日 (13時～15時) | 第1回・もっと知ろうmyカメラ【学び編】
内容 カメラのしくみ、機能、レンズの使い方を学ぶ |
| 11月29日 (13時～15時) | 第2回・カメラの基礎をしよう【学び編】
内容 シャッター速度、絞り、露出、ISOを知る |

場 所・・・ヨシヤカメラ 福知山市東長53番地 (広小路商店街街角) ※ヨシヤ専用無料駐車場あり

受 講 料・・・学び編 (1500円)

講 師・・・吉田博 (ヨシヤ代表取締役社長)

主 催・・・NPO法人京都丹波・丹後ネットワーク/株式会社ヨシヤ協働開催

詳細はチラシ、ホームページをご覧ください

編集後記

今月は「たまゆら」の舞台となった広島県竹原市の町並み保存地区を歩き、NPO法人ネットワーク竹原様に取材をさせていただきました。アニメがきっかけとなって聖地に足を踏み入れ、その町の良さを知るといったことは竹原市だけでなく他の地域でもみられるようです。アニメでの風景がまちの魅力を発信し、まちを想像させることでその場所へ向かわせたいかなるのだと思います。サブカルチャーが今後のまちおこしにどのような影響を与えるのか見ものです。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F
TEL&FAX (0773) 45-3507
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net